

2021 年度 事業報告

(自・2021 年 4 月 1 日～至・2022 年 3 月 31 日)

2021 年度、愛恵福祉支援財団は公益財団法人として 10 年目を迎えた。先年度に引き続き新型コロナウイルスは次々と変異株や変異種を生み出しその影響が世界中に拡大し、未だに収束をみることがない。コロナの感染爆発は当法人の事業に多大な影響を及ぼし、計画した事業は多くの変更や修正、そして再考を迫られた。こうした状況のもと当財団が立ち返るのは愛恵のミッションに依拠して、活用可能な財源を用いて最も愛恵の支援を必要としている事業や活動を見極めることであった。これらの結果 2021 年度は資金助成の活動に多くの支出をした。特に新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済的に困窮している学生への緊急支援や外国、特にアジアの政治的、社会的窮状にある活動を支援した。

この間当法人が実施した事業の多くがコロナ禍にあってどのように事業を継続していくかを模索するものであった。この状況は当然継続すると考えられる。

愛恵福祉支援財団は公益目的を掲げての活動の新たな局面を模索しているが、国際的にはアジアの社会福祉の担い手の育成の支援、国内的には顕在化しづらい社会福祉のニーズへの取り組み、そしてそれらの課題に向き合う社会福祉の担い手の育成等を具体的な事業として計画できるように、中長期的計画づくりに着手してきた。これらの計画を具体化するための組織的体制の整備も進めてきた。

(公 1) 公益目的事業

ア. 海外研修事業

海外の社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、社会福祉実践の担い手として成長するべく研修の学びを実践に反映させる目的で実施している事業である。2021 年度はコロナ禍により中止とした。

イ. 講座・講習等開催事業

社会福祉の担い手に対する、新しい知識、技術の向上と社会的な啓発のために実施する事業である。年度当初、ボランティアや一般市民に対しても社会福祉の振興を図り、社会福祉の啓発を意図した講演会や教室を開催したが、感染を避けるために中止や延期となった事業もあった。2021 年末まで講座開催の工夫を検討したが、最終的には断念した。

コロナ禍の影響を受けつつも、音声デイジー製作講習会（基礎編）およびマルチメディアデイジー製作講習会は開催した。

手話教室は外部委託への準備をする予定であったが、コロナ禍の影響で延期になっている。

石井十次賞を受賞された藤野興一氏による講演会は 2022 年 2 月 18 日に開催した。本事業は感染防止に留意し、Zoom を中心として開催した。

	事業名	内容	公募	実施日	場所	参加人数
1	2021 年度 音訳講座	読むことが不自由な方々のために、文字などを音声化する「音訳」の方法を学ぶ講座	2020 年度の全 8 回の内後半 4 回(コロナ禍により延期)を 2021 年度に実施	4 月 7 日 16 日、21 日、 27 日	東京 YWCA 会館	12 名
2	音声デイジー 製作講習会(基礎編)	パソコンを活用し、録音と文字のデータを合わせた情報システムにより、書籍での読書が困難な障害を持つ方々への図書作りを学ぶ講座	申込締切 10 月 27 日	11 月 17, 18, 19 日	愛恵ビル	12 名
3	マルチメディアデイジー製作講習会	音声とその部分のテキストや画像などが同期して出力されるデータの制作方法を学ぶ講座	申込締切 11 月 1 日	12 月 22, 23 日	愛恵ビル	9 名
4	音訳講習会	正しく情報を伝えるために音訳の基礎習得を目指す講習	申込締切 10 月 25 日	12 月 7, 14, 24, 1 月 11, 21, 28, 2 月 1, 8, 18 日	東京 YWCA 会館	12 名
5	手話教室	入門、初級、中級、上級 全 11 クラス、ZOOM コース(8 回、5 回、3 回) 手話通訳士へのステップアップ講習会	常時募集	コロナ禍のため全 20 回の内 11 回のみ	愛恵ビル	対面 24 名 ZOOM 7 名
6	石井十次賞記念講演会	子どもアドボカシーを構築するための活動に取り組む「藤野興一氏」から長年子どもたちと共に歩んだ実践に学ぶ	オンライン開催	2 月 18 日	ビジョンセンター東京駅前	会場 8 名 オンライン 27 名

講座講習企画委員 田中弘(愛恵理事)、新田和子(愛恵評議員)、上田健(愛恵評議員)、
伊藤美智子(元社会福祉法人施設長)

委員会開催 2021 年 7 月 15 日

ウ. 愛恵エッセイ賞(懸賞論文)募集事業

一般社会の福祉に対する意識やさまざまな体験などを募集し福祉意識の啓発事業として実施している。これまで応募者の偏りなどが見られたので、2021 年度は事業の見直しを行ったが、より広く募集を行うこととして実施した。

公募期間： 2021 年 11 月 5 日～2022 年 1 月 31 日

応募数：学生 140 名、 専門職 7 名、 一般 128 名 計 275 名
選考委員： 八尾勝、河合裕志(愛恵理事)、西崎攻司(愛恵理事)、今野武美
委員会： 2021 年 10 月 11 日、2022 年 1 月 14 日
選考会： 2022 年 2 月 24 日
表彰式： 2022 年 3 月 24 日 愛恵ビル会議室にて Zoom とのハイブリッドで実施
配布先： 400 部印刷、応募者、愛恵財団理事、監事、評議員、公益財団法人東京 YMCA、
その他

愛恵エッセイ賞(懸賞論文)表彰結果

学生の部	：	最優秀賞	1 名	優秀賞	3 名	佳作賞	3 名	奨励賞	1 名
専門職の部	：	最優秀賞	1 名	優秀賞	1 名	佳作賞	1 名	奨励賞	なし
一般の部	：	最優秀賞	1 名	優秀賞	3 名	佳作賞	3 名	奨励賞	1 名

エ. 社会福祉育成活動推進事業

1. 資金助成

(1) 一般助成

公募期間： 2021 年 9 月 15 日～11 月 15 日
応募件数： 91 件 採択件数： 88 件
助成総額： 14,523,553 円
選考会： 2021 年 11 月 30 日
選考委員： 高山和久（東京都社会福祉協議会）、西川ハンナ（創価大学）、高原敏夫(愛恵理事)
委員会： 2021 年 7 月 6 日 2022 年 2 月 2 日

- ・社会福祉法人及び特定非営利法人が実施している事業のうち比較的小規模、財政的な裏付けの少ない施設や先駆的な試み、開拓的な事業に対して助成を行った。
- ・助成金委員会の意見も取り入れ、財政的裏付けのある社会福祉法人よりも、特定非営利法人等の事業を優先させ、開拓的な事業実施を行う組織、および当事者団体等の先駆的事业に対する助成を行った。
- ・最近の傾向として、地域ベースの比較的小規模の事業、子ども食堂、発達障害などの重複障害のある人々に対する地域支援活動が新たな動向である。
- ・委員会では、申請および審査の方式、助成金交付の方法、助成後の成果を確認するまでを追跡する方法についても検討した。

(2) 緊急支援

1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済的に困窮している学生への緊急支援

助成額 1名 30万円、総額 1,800万円、募集定員は 60名。

第1次募集 7月1日～20日 39名 選考会 7月28日 遠藤、西崎、杉浦、木村

第2次募集 8月20日～9月20日 21名 選考会 10月7日 遠藤、西崎、杉浦、木村

社会福祉の勉学を志す学生で、コロナ感染拡大による影響を受けて学生としての生活上困窮をきたしており、他から支援を受けることが困難な学生に対して、1ヵ月 50,000円×6ヵ月分を助成し、学業を全うできるよう支援した。助成対象は社会福祉を学んでいる学部3年生、4年生とし、半年に必要な生活費の算定と支出計画、社会福祉の学習計画、困窮度について報告の上、指導教員の推薦書をつけて募集した。

学生からの報告によると、これまでもアルバイトと日本学生支援機構からの奨学金で大学生活をしているものがほとんどであった。主たるアルバイトが飲食業であったため、コロナ禍で完全に収入が絶たれた状態になった。このような学生は、もともと家族からの支援が期待できない状況にあり、また、家族もコロナ下での生活困窮にあり支援は得られず、退学や休学を検討せざるを得ない状況に遭遇していた。当法人の緊急支援でこれらの困難を乗り越えられ、大学生活を継続する見通しができたことが述べられていた。支援金で教科書が買える、安心して社会福祉の実習ができる、国家試験の準備ができるなど学生本来の生活の様子が報告されている。

2) ミャンマー医療ソーシャルワーカーグループへの緊急生活支援金の助成

- ・国家公務員の医療ソーシャルワーカーから、ミャンマー軍による政変下、市民不従順運動に参加したために公務員住宅を追われ、無給で市民のためにソーシャルワークを継続している人々から支援要請があった。
- ・軍事クーデター下での仕事は遺棄児童の受入場所探し、病弱児者の家族支援、在宅の慢性病患者への薬品配達などである。
- ・軍政下にあるので、支援金が着実に届くか懸念されたが、日本ビルマ救援センターの協力のもと 143人に対して合計 2,288,000円の緊急支援金を送付した。

(3) 特別助成

1) アジアのソーシャルワーク専門組織及び担い手の育成事業

① カンボジア専門ソーシャルワーカー協会組織育成の支援

- ・助成額 総額 300万円
- ・助成金は専門職組織の事務所開設、スタッフ雇用、組織の広報や研修会開催に使用された。
- ・協会の活性化支援をすることで、カンボジア専門ソーシャルワーカー協会は、カンボジア政府の社会福祉政策やソーシャルワーカーの役割などに対して助言を行う機会を得た。
- ・ソーシャルワーカー専門職組織の育成の具体的方法として、カンボジア専門ソーシャルワーカー協会は、カンボジアで社会的支援活動を展開するソーシャルワーカーの支援技術を

提供し、専門職の組織化活動に対応する研修の場を提供した。

- ・カンボジア専門ソーシャルワーカー協会がニーズ調査を実施したところ、NGO スタッフは、エントリーレベルのソーシャルワークスキルの研修を望んでいることが明らかとなり、同協会は、国内の NGO 等に所属するソーシャルワーカーのレベルアップと技術の均質化を図る研修を開始することとした。一方プログラムマネージャーの辞任と新たな採用など事業の進捗に影響が及んだ。
- ・カンボジアの NGO で働くソーシャルワーカーは、同組織との関わりや日本のソーシャルワーカーとの交流を通じて、ソーシャルワーカーの連帯やアイデンティティ強化に肯定的な成果を得ている。
- ・国際支援企画委員会は、今後も Zoom を通じて同組織との関係強化や技術支援の可能性を模索する。
- ・10月2日宇井志緒利氏を講師に招き最近のカンボジアの保健福祉情報を聞いた

② スリランカ 全国セイロンソーシャルサービス財団への助成

〔コロナ禍の貧困と感染防止の緊急助成事業〕

- ・ソーシャルワーカーはコミュニティを基盤として活動してきたが、コロナ禍の状況にも対応が必要として、緊急支援を求めてきたことにより助成を決定した。
- ・助成額：150 万円。本助成金の多くは、食糧と感染防止用品配布事業に充当された。
- ・高齢者および地域で生活を継続している障害者の貧困、食糧難、コロナ対応への窮状に対して助成を提供した。
- ・食糧支援対象総数は、600 人

③ バングラデシュ・コミュニティソーシャルワーク実践開発財団（CSWPD 財団）への助成

〔コロナ感染防止マスクキャンペーン活動への助成〕

- ・ソーシャルワーカーはコミュニティを基盤として活動してきたが、コロナ禍の状況にも対応が必要として、緊急支援を求めてきたことにより助成を決定した。
- ・助成額：50 万円
- ・この団体は、全国 64 地区のうち、これまで 24 地区で、子どもと女性を主たる対象としてコロナ感染防止マスク装着キャンペーンプロジェクトを実施してきた。本助成により、残りの 40 地区に活動を拡大してキャンペーンを実施した。

国際支援企画委員：平田美智子(文教大学講師)、立脇恵子(埼玉県立大学講師)、方こすも(カサデサンタマリア職員)、野田有紀(関東学院大学助教)、高原敏夫(愛恵理事)、木村真理子(事務局)

委員会開催：7月3日 カンボジアソーシャルワーカー協会と ZOOM 会議)、
10月2日、10月16日、11月23日、2022年1月29日

2) 子どもアドボカシーの中核拠点形成と政策提言への研究助成事業

社会福祉法人鳥取こども学園を通じて、鳥取養育研究所の活動助成を行う事業である。

- ・本事業は、日本の養護児童と児童養護施設の職員がカナダに渡航して研修を行う予定で、2021年度800万円の助成をする予定であったが、コロナ禍により渡航は次年度に延期となった。
- ・子どもアドボカシーについては、厚労省がガイドラインを発表しており、鳥取こども研究所も提言を行っている。
- ・子どもアドボカシーの仕組みは先進国で確立されているが、実施の仕方やその方法は、国によって様々である。本事業は、カナダの制度(専門家とのパートナーシップの下、児童が自らの経験を訴え権利擁護を行う方式)を学び日本に制度として定着させることを意図する実践と研究事業への助成である。

2. ペイン記念奨学金

社会福祉実践分野のリーダーとしての人材養成を目的として、日本の大学院に在学する学生に年額100万円を限度として、授業料相当額を奨学金として給付する。

対 象： 社会福祉系大学院に在学している者

公募期間： 2021年4月1日～5月15日

1次選考： 2021年6月11日 書類選考

2次選考： 2021年7月2日 面接

給付決定結果：5名

大学院1年生3名；2年生2名； 継続受給者 2名

選考委員： 李善恵（関西学院大学）、柴田謙治（金城学院大学）、
都築光一（東北福祉大学）、河合裕志（愛恵理事）、木村真理子（事務局）

委 員 会： 2021年6月11日、2021年7月2日、2022年2月8日

成果報告会：2022年3月22日 3名 （他の5名は来期実施）

収益事業

（収1）施設貸与事業

当財団が所有している「愛恵ビル」は財団の公益事業推進の与点として使用される他、所有スペースを収益事業として貸与している。

2021年度の事業収入は 合計6,724,155円 であった。

- ・テナント ESS株式会社 3室（10A、20B、40A）
 良公監査法人 2室（10A、20A 10A室は10月末に退居）
- ・時間貸しユーザーについては事務局内にユーザー名、日時、目的等公開している。

法人関連事項

法人運営に関する事項

1. 役員 任期は 2020 年度定時評議員会 6 月 28 日～2022 年度定時評議員会まで

理事 8 名 監事 2 名

代表理事 理事長 遠藤久江（非常勤）

業務執行理事 木村真理子（常務理事・常勤）、業務執行理事 杉浦孝夫（常勤）

理事（非常勤）河合有志、昆百合子、高原敏夫、田中弘、西崎攻司、

監事（非常勤）廣田伊志子、西田俊二

評議員 任期は 2020 年度定時評議員会 6 月 28 日～2024 年度定時評議員会まで

2021 年 3 月 31 日現在の評議員（非常勤）9 名

上田健、内田望、岸川洋治、坂上三男、坂本正路、塚越敏夫、新田和子、野原健司、
助川征雄

2. 事務局

常務理事 木村真理子

業務執行理事 杉浦孝夫

職員 久保悦子

パート職員 4 名

3. 届け出

役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程（木村常務理事報酬変更）

4. 「愛恵だより」の発行

第 8 号 2021 年 7 月 300 部、第 9 号 2022 年 1 月 300 部

愛恵財団の活動を広報し、財団の活動に対する理解と支援の拡大を目指して、愛恵だよりを
年 2 回発行した。愛恵だより編集委員会は広報委員会内に位置付けた。

愛恵だより編集委員：西崎攻司、昆百合子

編集：7 月 20 日、8 月 20 日、12 月 3 日、2022 年 1 月 28 日

5. ホームページのリニューアル。株式会社リリーに発注を予定しており契約を行うことが 3 月
の理事会で了承された。広報委員会と事務局とで協議して進める。

広報委員：八尾勝 渡邊恵 西崎攻司（愛恵理事） 昆百合子（愛恵理事）

委員会：7 月 20 日、9 月 27 日、11 月 9 日、12 月 21 日、2022 年 2 月 3 日

6. 会議の開催及び審議状況

（1）理事会に関する事項

開催年月日	審議及び決議事項
1 回定時理事会 2021 年 6 月 11 日	1) 2020 年度事業報告の件 2) 収支決算の件 3) 決算に関する資金振替の件 監事による監査報告の件 財団の事業について

第 1 回臨時理事会 9 月 30 日	① エッセイ事業に関するテーマの変更と運営方法の件 ② コロナ禍における経済的困窮学生へ緊急支援実施の件 ③ ミャンマーの医療ソーシャルワーカーグループへの支援の件 4) 常務理事交代の件 杉浦常務理事は常務職を退任し業務執行理事に、木村理事が常務執行理事に就任することが承認された。 5) 評議員会開催の件 2021 年 6 月 2 8 日（月）14 時～16 時
第 2 回臨時理事会 2022 年 1 月 20 日	1) 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定に関する件 2) 謝金等の支給に関する規程の改定に関する件 役員の交通費および委嘱委員等に対する報酬について改訂された。 3) 助成事業扱いの件 ① コロナ禍のアジアからの 2 件の緊急支援要請への対応：スリランカ、およびバングラデシュのコロナ対策支援を緊急助成の一部として実施する件が了承された。 ② 懸賞論文事業（愛恵「エッセイ賞」）の扱いについて 2021 年度の事業実施が了承された。 4) 講演会開催の件 藤野興一氏（社会福祉法人鳥取こども学園理事長） 2022 年 2 月 18 日（金）午後に石井十次賞を受賞された藤野興一氏による講演会を日本キリスト教児童福祉連盟、日本キリスト教社会事業同盟との共催で実施。 5) 広報委員委嘱の件 6) 野村証券の SMA（エグゼクティブ・ラップ）購入の件 遠藤理事長から購入の意向と内容理解を促す説明の後了承された。
第 2 回定時理事会 2022 年 3 月 8 日	1) 2022 年度事業計画案策定準備の件 2) 2022 年度 収支予算案作成の枠組みの件 3) 理事・監事改選に伴うスケジュールの件 4) 予算執行状況 4 月～12 月報告 5) 保有債券早期償還に伴う買い替えの件 6) 業務報告 7) 第 2 回定時理事会・第 2 回定時評議員会開催日程について
	1) 2022 年度 事業計画（案）承認の件 2) 2022 年度 収支予算（案）承認の件 3) ホームページリニューアルの件 4) 保有債券償還に伴う買い替えの件 5) 2022 年度臨時評議員会開催の件 3 月 22 日 6) 事務局職員採用の件

(2) 評議員会に関する事項

開催年月日	審議及び決議事項
定時評議員会 6 月 28 日	1) 2020 年度 事業報告の件 2) 2020 年度 収支決算の件 3) 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」及び「謝金等の支給に関する規程」の改定に関する件
臨時評議員会 2022 年 3 月 22 日	1) 2022 年度 事業計画（案）承認の件 2) 2022 年度 収支予算（案）承認の件

以上